

- *****
- A. 日 時 2008年7月25日(金) 17時00分～19時00分
- B. 場 所 建築学会会議室#202
- C. 出席者 安藤 啓, 井上勝夫, 大鶴 徹, 岸永伸二, 古賀貴士, 坂本慎一, 佐久間哲哉, 佐藤史明, 田端 淳, 中澤真司, 平松友孝, 安岡博人, 吉村純一, (敬称略)
欠席者 赤尾伸一, 岩瀬昭雄, 河井康人, 濱田幸雄, 福地智子, 吉久光一(敬称略)
- D. 提出資料
No.2-0 2008年度 第1回 音環境運営委員会議事録(案)(田端)
No.2-1 CASBEE 音環境内容の改定の必要性について(平松)
No.2-2 教材委員会暫定目次(坂本)
No.2-3 2009年度建築学会教育賞の候補業績募集について(大鶴)
No.2-4 日本音響学会建築音響研究会(佐藤)
- E. 審議事項
1. 前回議事録確認(資料No.2-0)
- ・ 承認された。
2. 環境工学本委員会(2008.7.25)報告(大鶴主査)
- ・ 学術推進委員会報告 男女共同参画推進行動計画について 主旨が説明された。
 - ・ 2007年度出版物販売状況 音環境の関連では、「音響材料の特性と選定」:1000部発行・5部残、「室内音場予測手法」:500部発行・37部残、「サウンドライブラリ DVD版」:500部発行・358部残(142部販売)、「学校音響に関するアカデミックスタンダード」:1000部発行 181部販売 学会の財政面も鑑みて、販売物ごとに何部発行するかの読みが大切である。電子的配信など、紙媒体以外の発行方法も考える時代であるとの意見もあった。
 - ・ 2007年度講習会事業決算一覧 音環境では、音響学会との共催により収支をゼロにしている場合が多い。
 - ・ 2009年度委員会活動計画案・予算原案および関係書類ご提出の依頼 関係書類の締め切りが 10月31日と例年より2週間ほど早まった。委員長等が決まっていない場合にも、書類には予定者または前任者を記入する等、漏れのないようにしてほしい。また、刊行物については2012年度までの可能性のあるものは全て刊行予定書に記入のこと。刊行物の執筆に着手するためには刊行委員会の承認が必要であり、その承認を得るために刊行企画書を提出すること。2010年度以降の刊行であっても、原稿執筆前に提出する。
 - ・ 2008年度大会 岩手宮城内陸地震についての報告がある。
 - ・ 2009年度大会 東北大学で9月4～6日の予定で開催。11月20日がOS、PS、PDの提案締め切りである。これに向けて9月26日環境工学委員会で議論する予定なので、音環境分野としての意向を小委員会で議論いただき、委員長までメールで報告してほしい。8月31日まで。2009年度は環境工学に関する研究懇談会を開催する予定。
 - ・ 2009年度開始特別研究委員会・若手奨励特別研究委員会募集 2年以内・各年10万程度 3～4件を採択予定。10月31日締め切り 分野横断・境界領域・新領域をキーワードとして、複数の部門・分野にまたがる研究が望ましい。萌芽的な研究に関しては少人数の小規模プロジェクトチーム型でもよい。若手の定義は2009.4.1時点で40歳以下(未満ではない点に注意)。
 - ・ 技術部門設計競技 テーマを提案してほしい。
 - ・ 外部資金への対応について 学会の委員会が外部資金に応募する場合は学術推進委員会の承認を得ること、の規定が策定された。
 - ・ 参加保障に関する体制整備に関するお願い(依頼) 身体の運動機能あるいは視覚聴覚機能に能力低下のある会員の参加保障について、体制整備の要望が学術推進委員会に対して出された。
 - ・ 大会懇親会のアナウンス 学生会費が5000円から4000円に変更された。

- 環境工学実験用教材の進捗状況が報告された。
- 環境工学用教材の進捗状況が報告された。各ページ執筆担当を8月31日までに確定する必要がある。
- シンポジウム実施計画書の紹介 音環境ではなし
- 研究者倫理・技術者倫理について環境工学として規定すべきである。各運営委員会に協力依頼があった。
- 2009年度研究協議会について 東北支部が担当する。昨年度は各運営委員会から分野別に研究動向が報告された。9月26日の環境工学委員会で議論されるので、テーマについてアイデアがあれば大鶴委員長にメールのこと。

3. CASBEE 対応について(資料 No.2-2) (平松委員)

すまい(住戸ユニット)検討 WG(清家先生主査)で音環境項目の問題点を平松委員が説明する。このWGには、CASBEE 関係で初めて、音環境の専門家(平光委員)が入っている。このWGは戸建住宅用である。別途、室内環境検討小委員会(坊垣氏主査)にも波及させる必要がある。

4. 小委員会・WG 活動報告

固体音小委員会(平松主査)

- 6/3、7/9に委員会開催。今年度末にはボールの評価方法案を作りたい。その基礎となる考え方を討議中。

集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会(田端委員)

- 7/3に委員会開催。遮音性能を規定する上で居室の暗騒音が重要となるため、暗騒音の実測について議論した。

建築音響測定法小委員会(古賀委員)

- 外部騒音の短時間測定を計画中。現場の目処はついており、日程を調整中である。INCEJ 遮音分科会でも同物件で測定をする模様であり、連携して進める予定。

室内音響小委員会(岸永主査)

- 6/6に委員会開催。拡散テーマのシンポジウム(羽入先生担当)を、4件の主題発表+パネルディスカッションで計画している。
- 音声伝送 WG アカスタ化をにらみ、都市建築空間の音声伝送性能評価基準案を作成中。3月には本テーマでシンポジウムを開催予定である。
- 音響指標 WG 指標の弁別閾について調査している。

音響数値解析小委員会(佐久間主査)

- ベンチマーク問題のための実測を7月28~30日に予定している。

企画・広報 WG(安藤主査)

- 7/4にWG開催。アカスタについて議論、3つの小委員会の主査・幹事に出席してもらって来年度以降アカスタ化できそうなものを検討してくれるよう依頼する予定。
- アカデミックスタンダード刊行小委員会で音声伝送のアカスタ化について報告した。

7. 他学会の予定

10月24日広島、11月:騒音振動, アコースティックイメージングと3研究会で共催する。開催場所はJARI。

8. その他(資料 2-3)2009年日本建築学会教育賞の候補業績募集について

締め切り10月16日 SMILEを推薦することの是非, するとした場合の推薦の仕方について, 議論があった。

9. 次回の予定

- 次回は9月26日(金)17:00~ 建築会館会議室

2008年度 音環境運営委員会予定		
第1回	2008.5.20(火)	実施
第2回	2008.7.25(金)	実施
第3回	2008.9.26(金)	(決定)
第4回	2008.11.27(木)	
第5回	2009.1.20(火)	
第6回	2009.3.16(月)	